

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年 3月 1日

事業所名 集団療育センターLIB城東

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	10		時間や活動でレイアウトを変更している	今後一人時間がほしい子が出てきた時の個別スペースの確保
	2 職員の配置数は適切である	10			より余裕がうまれるように人員を増加を目指したい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10		段差がでないようにしている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	更によくするように情報共有ツールを活用を模索中	個人の業務の見える化を行っていき、更に業務改善につなげたい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	2	アンケート実施	評価表を通じて改善に努めます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		ホームページに掲載	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10		他事業所(相談支援事業所等も含む)に意見を聞く	業務改善に繋げるため情報共有が必要
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		オンラインのもの主に参加している 伝達研修で同事業所内でも研修の実施	伝達研修を行っているのが、質の向上が今後の課題になっているので意見交換など踏まえ検討したい
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			細やかな聞き取りや現状(環境)の把握に努める
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		COCOブック(サポートブック)活用	一人ひとりより作りこんでいきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10		担当は1人という形ではあるが複数で相談、実施をするようにしている	更に向上できるように1人1人が考えられるようにする
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		子ども達が意欲的に参加できるように、子ども達にも意見を聞いて実施している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10		長期休暇、休日などは個別で話をしたりする時間を多くとっている。	子ども会議等での児童へのアプローチなど意識の共有の強化が必要
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10		できる事、得意な事を活かせるように計画を立てている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		朝のミーティング時間を作っている。	意識の差があり今後話し合いを重ねていく必要がある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		リムだけでなく別でも記録表を記載している。記載する際は意見交換、情報交換、など振り返りながらしている。	時間をかなりつかってしまうので、きめ細やかさは残しながら、無駄を省けるように検討する。時間的に全体の振り返りに参加できない職員もいるので上記と含め検討が必要。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		より細かく取れるように事前に一人一人のプログラムを準備してそれにそって記入している。	時間を要してしまい、簡略化できるところは簡略化していく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			客観的に見れるように努める
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10		オンラインでサービス担当者会議をしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10		学校行事など保護者を通じ共有している。学校が許す限り直接情報共有している。	どの学校とも密に情報交換をできるように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10			現状、医療ケアが必要な児童は、いませんが、その様なケースも想定して連絡体制を整えられるように検討します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10			該当時はいませんが、機会があれば努めたいと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10			今年度はそういったケースがありませんでしたが、そのような場合は情報共有はしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10		月1回は研修を受講できるように意識している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10		公園などで交流している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10			今後も引き続き参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		定期的に話を伺うようにしている。	今後も面談だけでなく電話など活用して話を聞き子ども達の状況や課題について考えていけるように努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10			今後、相談会など実施したと思っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			より丁寧な説明ができるように努める
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10		定期的に話を伺うようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10			今年度は実施できなかったため、次年度に繋げる
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			現状、苦情等は聞かれませんが、ただ迅速に対応できるように体制などは整え対応に努めたいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		月に1度予定表配布や、LIBニュースを配布しているので、今後も続けたいと思います。	
	35	個人情報に十分注意している	10			引き続き注意したいと思います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			引き続き配慮して対応できるように努めます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	10			今後の状況を見てきたらと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	委員会等で検討している	より見やすく分かりやすくを目指したい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	年に2回は実施するようにしている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	研修を受けている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10		そういったケースはないのが、現状ですが、十分に留意していきたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		現状アレルギー等の対象児童が居ませんが、今後でないとも限らないので引き続き留意して対応に努められるようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	ヒヤリハットに既読サインの記入する欄を設け対応している。	